

美食遺産

茨木高等学校

2年 飯塚 瑠奈

加味 鈴菜

三瀬 月鐘

杉谷 灯里

映像制作 近藤 圭

幼い頃から食に慣れ親しみ、

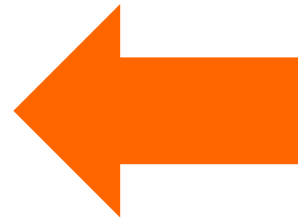
きちんとした食事をとることの大切さ
新鮮な食材を食べられることの有難さ

⇒茨木市全体の農業の需要を高める

新鮮な食材を
食べる機会増やす



農業の需要UP



健康の実感

⇒このような
健康サイクルの確立！



健康寿命

No.1



地產地消

No.1

ええよう“茨木”

栄養がきちんと摂れる町

「ええよ、茨木市」と言ってしまうような町



















重点政策①

小さな料理人計画

期間：今から10年間

対象：茨木市内の子どもたち

目的

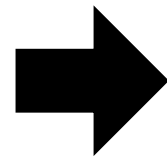
- 自炊の楽しさ、大切さを知る
- 地産地消の活性化



初めの約3年間

茨木高校の生徒が

小学校やコミュニティセンターへ！

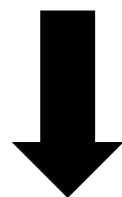


料理を一緒に作る

茨木市の野菜を
使ったレシピ

広まってからは・・・

小学生を茨木高校に招待！！



一緒に料理

年に一度

ちびっこ料理大会

開催場所：茨木市内のショッピングモール

茨木市の野菜を
使った料理で腕を競う

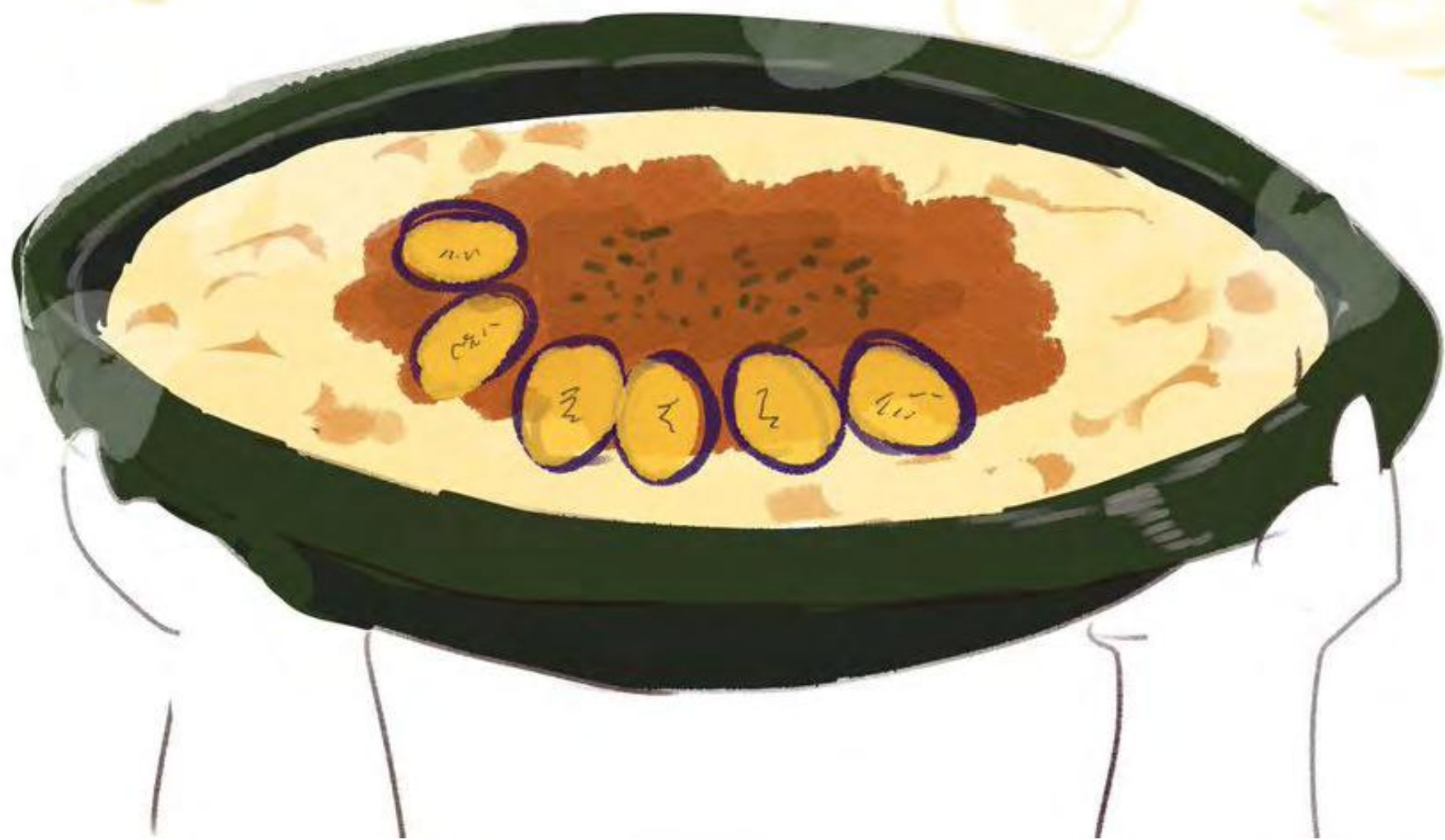
予算

	食材費 (円/人) ×生徒数 (人) ×回数 (回)	=	合計 (円)
1年目	$100 \times 2930 \times 8$	=	2,346,400
2年目	$100 \times 2334 \times 8$	=	1,867,200
3年目	$100 \times 2116 \times 8$	=	1,692,800
4年目以降	授業カリキュラムに導入するため無料		
合計 (円)	5,906,400		











重点政策②

ホームガーデン計画

期間：2028年～2038年

対象：茨木市内の小学生

目的

- 野菜を「作る」という経験をする
⇒農業への興味のきっかけに！

- 第3政策につなげる



最初の1年目は・・・

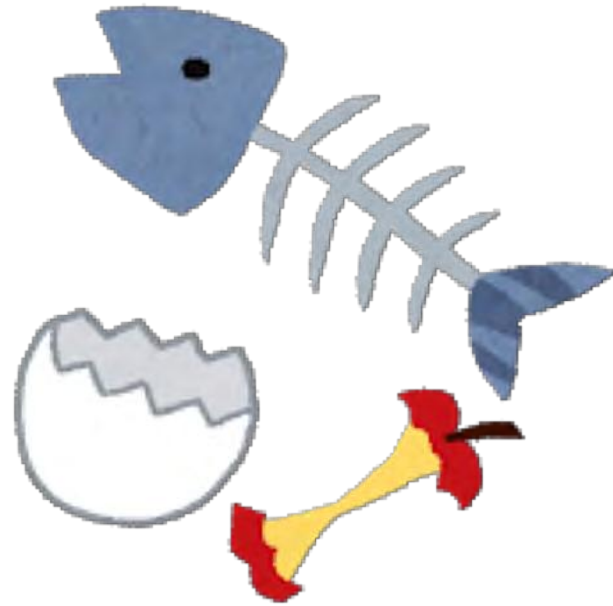
モデル小学校を選び、
生徒全員に野菜栽培セットを配布

⇒茨木高校の園芸部がやり方レクチャーします！

⇒茨木オリジナルの良い土で栽培！

茨木オリジナルの土とは…?

⇒生ごみをリサイクルして
作る土のこと



病害虫に強い

農薬不要

栄養価高い

美味しい



ごみ減量

そしてある程度広まれば・・・

茨木市内の全ての小学校の生徒全員に配布

茨木市内の小学生たち全員が
体験できるように！

飽きてしまうかも・・・

交換バザー

- 自分の野菜と他の人の野菜を交換できる
- 各小学校で開催

面白野菜コンテスト

- 面白い形の野菜を持ち寄り、競う
- 誰でも参加自由

⇒小学校の授業カリキュラムに取り込む

例えば・・・

☆交換バザーをイベント毎に定期的に行う

☆夏休みなどの期間に
宿題として栽培セットを配る

予算

野菜栽培セット（円/セット）×生徒数（人）

1年目	$3000 \times 1006 = 3,018,000$
2年目	$3000 \times 16502 = 49,506,000$
合計	52,524,000

補充する種（円/人）×生徒数（人）×回数（回）

$$300 \times 16502 \times 8 = 39,604,800$$

合計 92,128,800円

重点政策③

教育フアーム計画

期間：2038年からの10年間

対象：誰でも



目的

- 茨木市を地産地消No.1に
- 健康寿命もNo.1に

どんな政策？



教育ファームを建設

⇒野菜農園、宿泊施設、アスレチックを
建設

野菜農園



農業体験ができる！

⇒自分で収穫した野菜をその場で調理して食べる

さらに・・・

プチファームステイが可能！

⇒本格的な農業の体験

アスレチック施設

イメージ



- 子どもたちの遊び場を設ける

⇒ ついでに農業体験をできる

⇒ 農業をより身近なものに

約5年後・・・

日世株式会社
と契約

牛の飼育の開始

⇒生乳ソフトクリームの販売



乳搾り体験も実施



教育ファームの
名物に！！

< 見取図 >



予算

土地代(円)	地主さんから譲り受けるため無償
農具代(円)	153,000,000
野菜の栽培代(円)	1,249,920,000
牛にかかる費用(円)	300,000,000
建設費(円)	28,000,000
職員の給料(円)	409,000,000
合計(円)	2,139,920,000





111